

E クラス・タン ワン シン

《人生》

「人はいつか必ず死ぬ」それを知っています  
すが、何かあるまで、誰でも自分が死ぬとは思  
いません。しかし、毎日誰も死の可能性が  
あります。今日は絶対に死なないとは言えま  
せん。

今生きていて、いつ死ぬかというとは誰も  
知らないの、どんなに考えても無駄でしょ  
う。日常生活でいろいろな細かいことに悩ん  
でいて、死について真剣に考える時間があり  
ません。人は毎日通勤通学し、いろいろなこ  
とで忙しく、未来や、お金や、友達や、家族  
など、もっと大切なことを考えます。

その反面ある状況では、この問題は避け  
られません。特に病院には、死に直面してい  
る人がたくさんいます。病気だけでなく、い  
ろいろな理由で死にたい人もいます。その人  
たちは、その場合に、一体何を考えているで  
しょう。

生きていく意味はもうなくなり、死にたい人もいる一方で、病気で一生懸命頑張って生き続けたいと思っ、ている人もいます。死に直面している人はどんな気持ちを持っ、ているか知りたいたいです。

死のことを考えたら、自分の人生も真剣に考えます。人は何のために生きていますか。私は最後まで後悔しないで生きていたいのです。人は最後には死ぬのですから、自分の人生は自分で決めたいです。健康なうちに好きなことをやっ、て、夢を追いかけてたいです。もし、いつかその目的が達成されても、き、とまた他の意義を見つけられることを信じています。人生で何をしたいかが自分でもわかんないと、生きていく意味があるのでしょうか。心ら、と暮らしている人は生きていないのと同じだと思いませんか。ですから、みんなはその人生の目的を頑張っ、て探しているのだらうと思います。

私も探している途中です。人生の目的は具

体的にわかりませんが、やりたいことがあります。それは日本の生活で様々な経験をすることです。

日本に留学する奨学金がもらえるのを知ったのは、母がまだ生きていた時でした。こんな好機が来て、まるで夢のように信じられず、何とも言えない嬉しい気持ちになりましたが、その時母は病気で、母の状態は悪くて、危険でしたので、私はその気持ちを我慢して、自分が夢を追って日本へ行くかどうか決められませんでした。自分の夢は諦めたくなくなかったけれども、母のそばにいたか、たからです。

悩んでいるうちに、母が亡くなりました。もし、母がまだ生きていたら、私はここにきていないかもしれません。母は私が日本に来る前に亡くなりました、皮肉にも私はそのために自分の夢を実現させました。それを思うたびに、私は今の生活をもっと頑張りたくあります。母を失望させたくないし、亡くなった母にも私を誇りに感じてほしいからです。

人は何のために生きていますか。その問題  
の答えは時間が経つとともに変わるかもしれ  
ませんが、その答えがわかれば、あなたは  
人生の大きな一歩を踏み出したと思います。